

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年12月22日
事業者名:	株式会社スーパーメイト

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	従来の買い物カゴの生産に比べ、ペットボトルキャップを再利用した『ボトルキャップバスケット』はカゴ1個あたり235.95gのCO2排出を削減できます。また、取組みを通して資源の分別を推進します。	⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任つかう責任, ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	販売から約3年間でおよそ65万個(キャップ64,142,859個)のボトルキャップバスケットをスーパーマーケット様等に導入して頂き、153トンのCO2を削減。 また、ペットボトルキャップ回収を開始し、1年半で2トンものペットボトルキャップを回収致しました。	指標	・ペットボトルキャップの回収 ・二酸化炭素の排出量削減
				目標	・2025年度にはペットボトルキャップを安定して2トン回収できるように呼びかける。 ・製品生産時の二酸化炭素排出量を2030年度までに100トン/年維持できるようにする。
社会	・企業、学校、団体様にペットボトルキャップ回収の輪を広げ、SDGsの取組みを推進する。 ・学校への環境学習に参加	⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任つかう責任, ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	2023年度には県内の学校2校(3クラス)に環境学習をしました。 学校やスポーツチーム(FC岐阜)などに回収活動に参加していただいた。	指標	環境学習の実施件数
				目標	2026年までに10校実施
経済	大手スーパーマーケットをはじめとした多くの小売店に、ボトルキャップバスケットを採用して頂く。	⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任つかう責任, ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	2023年10月までに約65万個の『ペットボトルキャップバスケット』を導入して頂いた。	指標	『ボトルキャップバスケット』の導入率
				目標	・まだ導入して頂けていない店舗様に『ボトルキャップバスケット』を導入して頂き、2030年度までに導入率50%を目指します。

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・リサイクル製品に関する最新情報の共有 ・関連の展示会・イベントへの参加
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・ホームページとSNS (instagram/X(旧Twitter))での回収活動紹介や、SDGs関連イベントの発信 ・関連地域のプラットフォームなどへの加入 (情報発信)